



令和3 / 夏



立雲寺だより



お盆と供養の話。

いのちに合掌

目録山



日蓮宗
Nichiren Shu



立雲寺



立正安国・お題目結縁運動
いのちに合掌

〒050-0086

北海道室蘭市大沢町 2-4-1

TEL (0143)44-4306

MAIL ritsuunji@gmail.com

立雲寺公式サイト



お盆で先祖供養をしましう。とお寺がいつも言っているし、お盆期間はお坊さんが家に来てお経をあげて、お墓参りをしている。毎年の恒例行事です。という方は多いと思います。でも、そもそもお盆ってなんだろう？改めてお盆を知ると、毎年恒例のお盆参りが少し違ったものを感じるかもしれません。

お釈迦さまの十大弟子の一人に神通力（超人的な能力）第一といわれた目連尊者（もくれんそんじゃ）という方がいました。目連は自身の神通力で、亡くなった母が餓鬼道に落ち、骨と皮ばかりの姿になり、飢えて苦しんでいることを知り、その母を救おうと食べ物や水を口に運びましたが、たちまち火となって燃え上がり、苦しみは増すばかりでした。

目連はお釈迦さまに救いを求めると、「あなたの母は生前の罪によって餓鬼道に落ちた。一人の力では救えない。七月十五日修行を終えた多くの修行僧に沢

山の飲食を供えなさい。その功德によって救われるであろう。」と教えられました。目連は教えに従い、その功德によって母を救いました。目連の母が餓鬼道に落ちてしまったのは、我が子を思うあまりに自らの欲、貪りが強かったことが原因です。困っている人を助けることもなく「自分さえ良ければ」という生き方をしていたのです。お釈迦さまは目連に、母を救いたいという気持ち、他に苦しんでいる人に捧げることが功德となり、母、そして自分自身を救えることを教えました。

お盆の供養は、父母、祖父母、先祖へ沢山のお供物、お経、お題目を届けることで「おかげさま」の気持ちを表します。「NO 先祖、NO LIFE!!」私の先輩のお上人が言っていた言葉です。「先祖なくして人生なし！」キャッチーで口に出して言いたくないです。ふざけているみたいですが、お盆期間だけでなく普段から頭で、体で覚えておきたい教えなのだなと思います。そして日ごろから悪業を積まないよう過ごしているか。自分さえ良ければいいという生き方をしているか。改めて心の洗濯をする。それがお盆供養の意義です。

今年のお盆のみなさまの供養で、より多くの方々が救われることを願っています。

夏号もくじ

- 1 お盆
- 2 お盆期間の流れ
- 3 行事報告 (5・6月)

- 4 行事予定 (8・9月)
限定御朱印・お寺の図書館・ご報告
- 4 教室案内
学びの時間

令和3年

8.16(月)

14:00~ 立雲寺本堂
盂蘭盆会法要

行脚は 17:30 出発

18:30~ イタンキ漁港
灯籠流し

立雲寺お盆期間の流れ

ご先祖さまが家に帰る事が許される期間。宗派や地域で違いはありますが、立雲寺のお盆期間の供養の仕方です。

1 精霊棚（仏壇）を飾る、供える



精霊棚はご先祖様がお泊まりになる所です。感謝の心を込めて飾りましょう。

飾り方の一例

- 1 お供物（団子・菓子・果物等）
- 2 お霊供膳
- 3 まこものゴザ
- 4 胡瓜の馬と茄子の牛
- 5 水の子：胡瓜と茄子を細かくきざみ、洗米を混ぜたもの
- 6 水器：器に蓮の葉を敷き水を入れミソハギの葉を束ねて置く
- 7 青竹
- 8 ほおずき



※あくまでも一例です。各家によって様々な飾り方があるので、こちらはご参考までに。

2 迎え火・お盆棚経参り

期間：8月1日～8月12日

ご先祖をお迎えする目印として。玄関先でおがら（細い木）を焚き、合掌してお題目「南無妙法蓮華經」を数回唱えます。（住宅事情で火を焚けない場合は盆提灯で代用）本来はお盆入りの日に行いますが、自宅棚経参りの前日の夕方にやるといいでしょう。



先祖・故人のために

塔婆供養

法要で塔婆の読み上げをします。

水塔婆供養

自宅で水に入れ供養し、お寺にお持ちください。

灯笼供養

先祖・故人をお送りします。

3 骨段・お墓のお盆経

期間：8月13日～8月16日



お墓・納骨堂に供花・お供物を供えお参りしましょう。僧侶がお経をあげます。

4 盂蘭盆会法要

8月16日 14時

中日である8月16日14時から、本堂にてお盆の法要です。お塔婆を建て、お供物を供えてご先祖様を供養し、感謝を伝える法要です。



5 灯笼流し（送り火）

8月16日 18時半



行脚出発：17時半
お盆法要後、17時半頃に立雲寺を出発しイタンキ漁港まで行脚し18時半頃より灯笼流しです。各家の灯笼を流し、水塔婆と初盆の方の法名紙をお焚き上げて、ご先祖様をお送りします。

初盆の方へ

ご命日：令2年6/27～令3年6/26

初盆は、故人様がこちらに初めて帰って来られる期間です。精霊棚（仏壇）の飾りは通常のお盆と同じで良いですが、白提灯（模様のない白木の盆提灯）があればより丁寧です。

立雲寺では、8月16日の盂蘭盆会法要で新盆の方の法名紙をお祀りし、お読み上げをして供養をします。上記の通り供養を丁寧に行うことで、故人様に思いの伝わる初盆にしましょう。

八月〜九月

予定事

14時～法要
盂蘭盆会

8/16
(月)

5月

馬頭祭

報行 告事

五月〜六月



14時より法要。
18時半より灯籠流し。
詳細はP1・P2参照。

イタンキ漁港にて灯籠流しを行います。



広く動物霊を救い、また交通安全の神様として祀られている馬頭観世音菩薩の大祭。法要後は、写経体験をしていただきました。

9/13
(月)

13時半～
馬頭祭 (13日講)

馬頭観世音菩薩は動物霊を救い、また交通安全の神様です。午後1時半より。境内の馬頭観世音菩薩の前にて読経・祈祷。本堂にて法要・祈祷・法話。

馬頭観世音菩薩

13時～法要

秋彼岸法要

9/23
(木)



13時より法要。
骨段経は22日・23日
(変更あり。)

例年、多数の僧侶に来ていただきご祈祷をしていますが、去年に引き続き感染症対策のため立雲寺の僧侶のみで行いました。

鬼子母神祭 (6月)



法要後は、副住職による法話がありました。



今季の一冊

「回忌法要はなぜやるの?」「日本の僧侶は肉を食べて飲酒もするけどいいの?」「お布施はお気持ちで。なぜ?」等、仏教に抱く疑問への仏教者の回答を紹介してくれています。私も僧侶でありながらなるほど〜と勉強になりました。(光汰)



『心が軽くなる仏教とのつきあいかた』
勝 桂子 著/啓文社書房

限定御朱印

※8月の「お盆」限定は書き置きのみです。

「お盆」

8月限定御朱印

頒布期間 8/1～8/31

志納金 500円

ご先祖の乗り物である胡瓜の馬、茄子の牛、鬼灯が描かれています。横のお経は法華経授記品第六の一節です。※お盆期間の為、書き置きのみです。



ご報告



この度、林光汰と美沙妃の結婚식을5月8日に立雲寺本堂にて行いました。このような状況なので身内のみで行いました。

未熟な二人ですが、「いいお寺」と言われるようにより一層頑張りますので、今後とも宜しくお願い致します。 光汰 美沙妃

「秋彼岸」

9月限定御朱印

頒布期間 9/1～9/30

志納金 500円

秋のお彼岸期間に咲く彼岸花のデザインです。文は日蓮聖人の御遺文「一生成仏抄」の一節です。



「お布施」と言うと、お坊さんに御礼としてあげるものと考えられる人が多いと思いますが、仏教では「布施行」という修行の一つです。その中でも心がけ一つで出来る「無財の七施」というものがあります。

①慈眼施（じげんせ）いつくしみの眼、優しい眼。②和顔施（わげんせ）なごやか、穏やかな顔。③愛語施（あいごせ）やさしい、愛情ある言葉。④捨身施（しやしんせ）身体を使った世の為、人の為の奉仕。⑤心慮施（しんりよせ）他人に心を配り、喜び悲しみ分かち合う。⑥床座施（しよざせ）気持ちよく喜んで席を



学びの時間

第2回

「お布施」

文・林永清

林永清（はやし・えいしん）／立雲寺副住職。
令和3年5月より「立雲寺だより」にて一口法話「学びの時間」を連載開始。

譲る。⑦房舎施（ぼうしゃせ）自分の家や軒先を困った人に貸す。一口で言えば思いやりと心を込めて接しましょうという心がけ。それは自分自身も身の回りの人も明るく楽しくする尊い行為だと言えます。

日蓮聖人も「親に衣食住を施す事が出来なくても、日に三度笑顔を見せることがこの上ない親孝行になる」と仰っています。人からもらう心遣いは誰だって嬉しいものです。

今年もコロナ禍でのお盆、ご先祖さまはじめ生きてる周りの人にも心を込めて「お布施」をしていきたいものです。

後編集 立雲寺の図書館に寄贈された本の中に「はだしのゲン」があり、初めて読んでみました。想像以上の衝撃でした。子供たちが読むと怖くて傷つき、シヨックを受けることでしょう。それでも、是非読んでほしいと思いました。

「反戦・反核・差別・平和」についてもう一度深く考え、他人事ではないネットやコロナ禍での誹謗中傷、風評被害など、私達はあの頃と変わらず同じ間違いを繰り返してはいないだろうか？来たる終戦の日には、平和が続くことを強く願わずにはいられません。（恵）

教室案内

調 寺ヨガ guna



参加費（ハーブティー付） 1,000 円
マットレンタル 200 円

朝ヨガ	昼ヨガ	夜ヨガ
第2・4日曜日 8:45～（60分）	第1・3金曜日 10:30～（60分）	毎週木曜日 18:45～（60分）

※お寺の都合で変更・中止することがあります。

講師 林南歩（はやし・なほ）
お問合せ TEL 080-9610-1030

公文書写教室 書



〈学べる教科〉

- ペン習字
- かきかた
- 筆ペン
- 毛筆

7・8月1日無料体験学習 実施中

9月無料体験学習（最大3回まで体験可）

9月 13日 / 20日 / 27日（月）
14日 / 21日 / 28日（火）

詳細は下記の連絡先まで

講師 林香織（はやし・かおり）
お問合せ TEL 090-5079-0747



- 御朱印情報
 - お寺の行事
 - 教室・講座情報
 - 仏事のご相談
 - お問い合わせ 等...
- 便利に使えます。



御朱印のご予約も
こちらから。

友だち追加方法 ① [友だち追加] > [QRコード] より
上記の QR コードを読み取ってください

友だち追加方法 ② [友だち追加] > [ID検索] より
@183iejasa と入力してください